

統計グラフの作り方

※山形県統計グラフコンクールに出品する場合は、規格などの要件がありますので、募集要領をよくご覧のうえ作成してください。

①テーマを決め、資料を集める。

グラフで何を表現したいかを決めます。そのうえでふさわしい資料を集めます。話題になっている内容、独創的な内容に関心が集まりますので、新聞やニュースなども参考にしましょう。

【注意】

小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査したものに限ります。詳しくは募集要項をご覧ください。

②加工や分析について検討する。

B5またはA4の用紙に調べたことを整理しましょう。テーマをよりの確に表現するには、統計数字そのものより、平均、比率、構成比、指数として扱う方が良いこともあります。十分検討してみましょう。

【注意】

ここで整理した資料を最後に作品の下に貼り付けることになります。

③適切なグラフを選ぶ。

グラフの図形は利用目的によって多くの種類があり、またそれぞれ性能も違います。選択を誤るとテーマを正しく訴えることができません。

【主なグラフの種類とねらい】

棒グラフ ⇒同じ幅の棒を並べ、その棒の長さによってひと目で全体の様子が分かるように大小を比べる。

折れ線グラフ⇒時間的経過による変化を見るのに便利である。横軸は時間経過（時、日、月、年等）を示し、縦軸で表している量との関係を表す。

円グラフ ⇒全体に対する各部分の相互の関係などを明示する。

帯グラフ ⇒全体に対する各部分の構成や各部分の相互の関係などを明示する。

絵グラフ ⇒絵の示す大きさによって、興味深く見せることができる。数字に関心に薄い人たちにも情報を伝えやすい。

④作品の題名（タイトル）を決定する。

グラフの内容を最もよく伝えられる題名を決めます。見る人の興味を引くような題名を考えましょう。

⑤デザイン・構図・レイアウトを考える。

視覚に訴えるグラフでは、一つの画面をどう構成し、どんな色彩にするかを考えることも重要です。内容や図形が多すぎると、見る人に、かえって混乱を与えることがあります。

【注意】

第三者が作成したイラスト（例：アニメのキャラクター）や写真等を使用しないでください。

⑥試し書きを試してみる。

構図が決まったら、試し書きを試してみます。この段階で第三者の意見を聞いてみるのも良いでしょう。

⑦仕上げをする。

鉛筆で下書きし、目盛りや単位などに注意しながら、丁寧に墨入れや彩色をします。

全体の印象を考え、色彩を調和させると良いでしょう。

⑧仕上がり検査をする。

完成したら、最後に下記のことをチェックします。

- ・ 用紙の寸法は正しいか。（72.8cm×51.5cm）
- ・ 誤字・脱字はないか。
- ・ 外から資料を得た場合は、資料の数値と作品の数値が一致しているか。
- ・ 資料の出所、観察・調査の方法などの書き落としはないか。
- ・ 資料の添付を忘れていないか。
- ・ 切り紙または折り紙をのり付けした作品の場合、はがれ落ちそうになっていないか。

みなさんも統計グラフを作ってみましょう！